

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	伊万里市立山代西小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	11
児童数	16	21	16	23	16	20	0	112	

研究の概要

1. 研究主題

主体的で心豊かに学び合う算数科学習指導法の研究 ～楽しく学ぶ算数的活動を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数 児童の理解の状況に差が出やすく、系統性の強い教科であるため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 主体的で心豊かに学び合う算数科学習指導法の研究 ～楽しく学ぶ算数的活動を通して～</p> <p>仮説</p> <p>(1) 算数科の指導計画の中に、算数的活動の場、児童相互が考えを交流できる場、児童の習熟度にあった学習の場を位置づけ、それぞれを関連させていく学習の展開を図れば、児童はわかる喜びやできた満足感を味わい、お互いによさを認めながら、主体的に問題を解決していく態度が育つであろう。</p> <p>(2) 校時表の中に「計算問題、問題作り、スピーチ」に取り組む時間として「特設タイム」を位置づけ、次のような手立てをとれば、児童の基礎的技能（計算力、文章構成力、話す力、聞く力）が高まるであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特設タイム」の年間指導計画を作成し、全職員で指導にあたる。 ・1単位時間（25分間）の中での指導計画を作成し、指導にあたる。 ・指導 評価の手順を踏み、児童に励ましや称賛の言葉をかける。 <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 楽しく学ぶ算数科授業の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動の重視 ・表現活動の重視 ・単元全体を見通した指導計画の作成 ・学習形態の工夫 ・課題提示の工夫 <p>(2) 基礎的技能を高める場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル学習（計算問題や問題作り等）、スピーチに取り組む場の設定 <p>(3) 算数に関心を持たせる環境作り</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 主体的で心豊かに学び合う算数科学習指導法の研究 ～思考の共有化を通して～</p> <p>仮説</p> <p>(1) 算数科の指導計画の中に、算数的活動の場、児童相互が考えを交流できる場、児童の習熟度にあった学習の場を位置づけ、それぞれを関連させていく学習の展開を図れば、児童はわかる喜びやできた満足感を味わい、お互いによさを認めながら、主体的に問題を解決していく態度が育</p>
--------	--

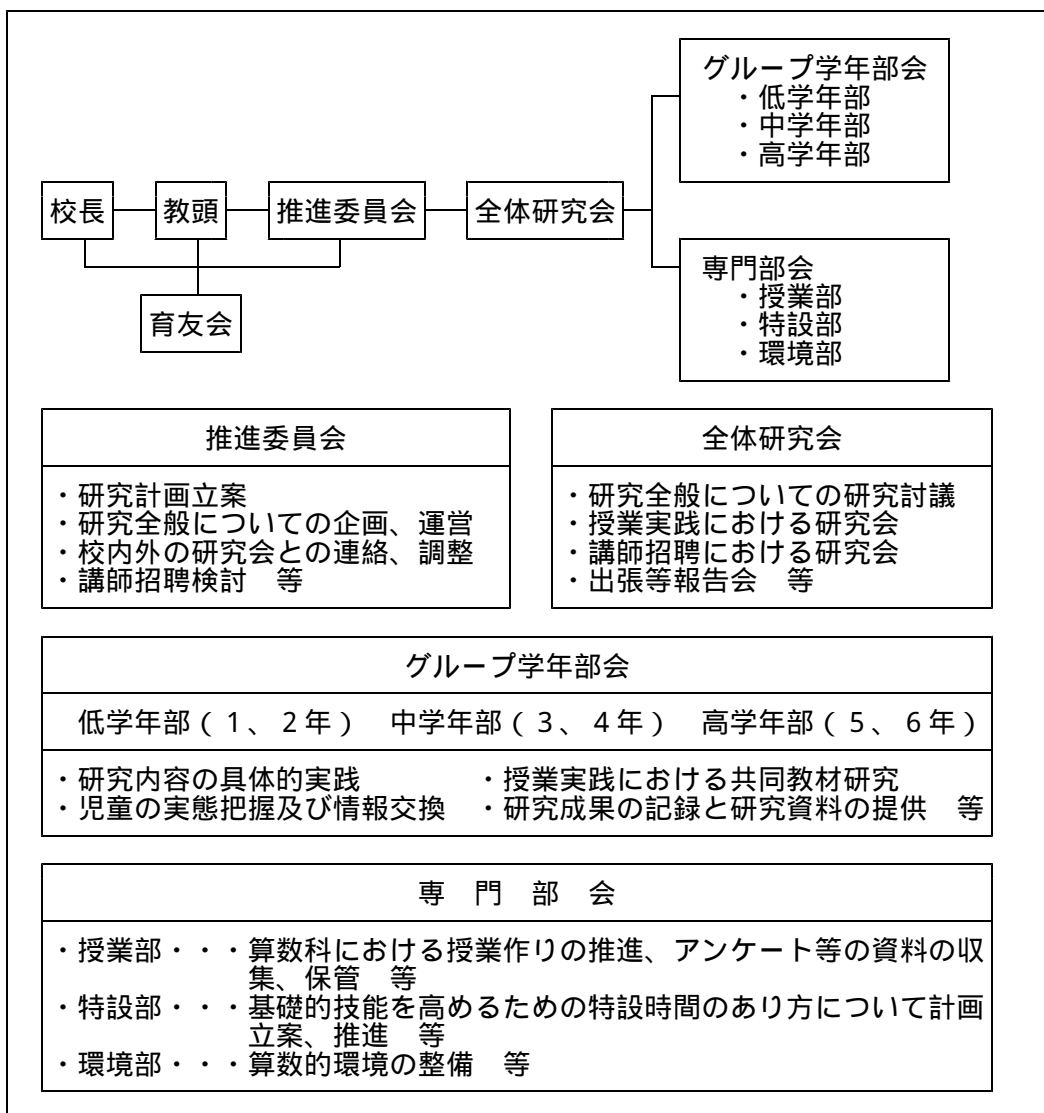
つであろう。

- (2) 校時表の中に「計算問題、問題作り、スピーチ」に取り組む時間として「特設タイム」を位置づけ、次のような手立てをとれば、児童の基礎的スキル（計算力、文章構成力、話す力、聞く力）が高まるであろう。
- ・「特設タイム」の年間指導計画を作成し、全職員で指導にあたる。
 - ・1単位時間（25分間）の中での指導計画を作成し、指導にあたる。
 - ・指導評価の手順を踏み、児童に励ましや称賛の言葉をかける。

研究の内容・方法

- (1) 楽しく学ぶ算数科授業の改善
- ・算数的活動の重視
 - ・表現活動の重視
 - ・単元全体を見通した指導計画の作成
 - ・学習形態の工夫
 - ・課題提示の工夫
- (2) 基礎的スキルを高める場の充実
- ・スキル学習（計算問題や問題作り等）、スピーチに取り組む場の充実
- (3) 算数的環境作りの充実

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題
1. 研究成果

(1) 児童の変容と成果

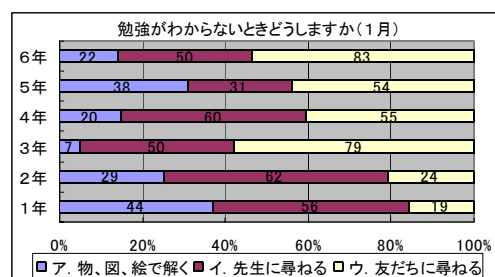
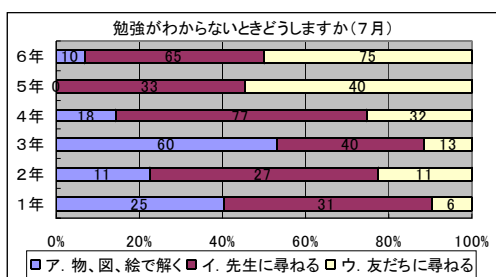
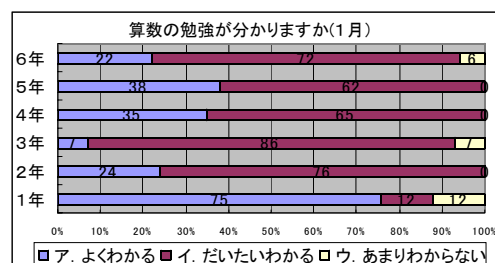
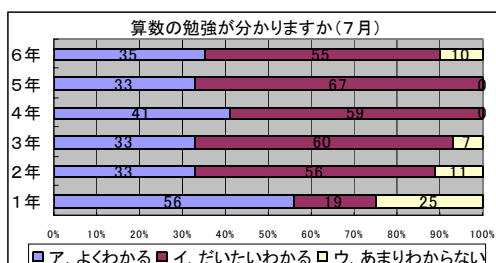
平成15年2月に行ったCRT標準学力検査結果の分析・考察をもとに一人一人の児童の実態をつかみ、算数科授業の改善を行った。まず、単元に入る前に既習事項をどれくらい身につけているか前提テストを行い、レディネス調整を行った。また、未習事項の内容についての事前テストも行って単元の指導計画を立案した。指導計画の中には、指導者2人で指導するTTや、単元の途中や最後に習熟度別学習を取り入れて、児童の理解度に応じた学習形態を工夫した。更に、本校では年度初めからブロック制の校時で授業を進め、60分や2時間続きの授業も取り入れた。

学習過程においては、児童相互が自分の考えを交流し合う「学び合い」の場を位置づけ、2人で学び合う場、みんなで学び合う場を通して、お互いの考えを出し合い、思考の共有化を図った。また、毎朝25分間を「スキルタイム」（計算問題等10分間）「スピーチタイム」（15分間）に取り組み、計算力や話す力・聞く力を高める取組を行ってきた。「スピーチタイム」では、自分の思いを伝え、聞く側は相手の思いを共感的に受け止め、お互いが感謝の気持ちをもって思考の共有化を図り、算数の授業との関連性を持たせた。このような取組をしていく中で、下記のような児童の変容が見られた。

- ・あまり発言がなかった児童も含め、授業の中で発言する児童が増えてきた。「スピーチタイム」や授業の中で、2人で話し合う場を設け、お互いが相手の考えを受け止めて意見交換することで、安心して発表できる雰囲気ができてきた。
- ・「スピーチタイム」で培われてきた話し方や聞き方が定着しつつあり、授業の中でも練り合いの場面で生かされている。また、相手に感謝の言葉をかける児童も増えてきた。
- ・自分の考えと友達の考えを比べ、自分の考えを振り返る姿が見られてきた。

(2) 児童の意識調査からみた成果

7月と1月に全児童に算数アンケートを行った。



【考察】

質問(1)では、「算数の勉強があまりわからない」という児童が減ってきている。特に4、5年生においては2回とも0%で、しかも、「よくわかる」と答えた児童が3割強であった。授業の中で児童の考えを大切にし、2人の指導者で個に応じたきめ細やかな指導の結果だと考える。

質問(2)では、「友達との交流」の伸びが見られる。学習過程に「2人で学び合う場」「みんなで学び合う場」を位置づけ、お互いの考えを交流し合ってきたが、分からないところを質問する児童も多く見られるようになってきた。「学び合い」の効果が表れていると考える。

2. 今後の課題

- ・児童相互の「学び合い」を更に深めていく具体的な手立てを探る。
- ・「佐代川タイム」（スキル学習、スピーチタイム）の内容を更に充実させていく。
- ・学力向上につながる評価の研究に取り組む。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学力検査の実施・・・国語、算数（2月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1. 研究会、説明会等の開催実績

(1) 第1回公開授業及び研究会

- ・日時 平成15年11月13日
- ・場所 山代西小学校各教室及び体育館
- ・公開授業内容

学 級	単 元 名	指 導 形 態
1年1組	ひき算（2）	一斉指導
3年1組	かくれた数はいくつ	T T
6年1組	分数のわり算	少人数（習熟度別）

- ・全体会及び研究協議
パワーポイントを使って研究の概要について説明を行った後、授業内容や研究内容についての研究協議を行った。

(2) 第2回公開授業及び研究会

- ・日時 平成16年1月27日
- ・場所 山代西小学校各教室及び多目的ホール
- ・公開授業内容

学 級	単 元 名	指 導 形 態
2年1組	九九のひょう	T T
5年1組	面積	一斉指導

- ・全体会及び研究協議
パワーポイントを使って研究の概要について説明を行った後、授業内容や研究内容についての研究協議を行った。

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無